

3 生涯学習

～学ぶ意欲を持つ市民が学習することのできる機会や場が得られているまち

<A 基本計画の目標>

地域における人と人との出会い、ふれあい、学び合いを推進し、地域団体や市民団体の活動を支援する中で、市民同士のつながりと支え合いを高めるための機会を設けるとともに連帯感やコミュニティー意識の醸成を図ります。

学習機会の提供にあたっては、個人の需要と社会の要請のバランスを保つとともに、生きがい・教養・人とのつながりなどの追求と職業的知識・技術の習得の調和を考慮します。

市民が主体的に学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進め、いつでも、どこでも、だれもが気軽に学習できる学習環境を整備・充実します。

多様で幅広い学習情報の収集・提供や学習相談体制の整備、学習コーディネーターなどの人材育成を行い、若者を含めあらゆる層の市民の生涯学習を総合的に支援していきます。

学習した成果が就業や社会参加など、さまざまな場面で発揮できるよう民間教育事業者や関係機関と連携を図りながら、職業能力の向上につながる学習機会の提供に努めます。

あらゆる場面において市民参加ができる機会・場の拡充と市民、行政、民間教育事業者や関係機関が一体となった効率的・効果的な推進体制を整備します。

<B 目標指標：市民意識調査による市民の満足度>

目標指標	目標指標の定義	当初値	H19	H20	H21	H22	トレンド
市民満足度	サブタイトルにあるまちの実現状況について、市民が実感している割合	54.8 %	49.7 %	53.6 %	54.6 %	53.4 %	↘

<C 目標達成に向けた22年度の実績と自己評価>

自己評価

【生涯学習部】

<p>※この分野の目標達成のために取組んできた事業の実績(前年度事業及び実施計画事業を中心にコメント)</p> <p>大学公開講座など高等教育機関との連携事業が定着し好評を得ています。また、市民ボランティア団体である「鎌倉市生涯学習推進委員会」に事業委託し、環境問題、子育て支援、食育の推進、少子長寿化社会への対応など様々な世代を対象とした講座を開催しました。</p> <p>豊かな「生涯学習社会」の創造を目指して、平成23年度から10年間を見据えた生涯学習の「鎌倉市生涯学習プラン」を改訂しました。</p>	◎
<p>※この分野の目標達成のために取組んできた事業の実績(前年度事業及び実施計画事業を中心にコメント)</p> <p>図書館では、市民活動団体「図書館とともだち・鎌倉」と協働して各種図書館振興事業を企画運営し、市民ニーズの把握に努めながら図書館の集会機能を拡充させました。また、図書館を利用したことのない市民に対しても図書館の役割と利便性をアピールすることができました。</p> <p>「子ども読書活動推進計画」の進行管理の体制を整備しました。また、市内小中学校ほか関係団体に「学習パック」「子ども読書パック」の利用について周知し、子どもの読書環境整備に努めました。</p>	◎

前年度当初目標に対し、◎＝80%以上○＝50%以上△＝30%以上×＝30%未満

<D 前回の市民評価委員会などからの指摘への対応状況>

市民評価委員会などからの指摘

指摘等に対する改善策・対応など

【生涯学習部】

・市全体の文化度向上のため、単なるカルチャースクールとしないようにしていく努力も必要。趣味学習のみでなく、地域への貢献が生まれることが望まれる。



市民との協働による生涯学習の推進を図るため、市民ボランティア団体である「鎌倉市生涯学習推進委員会」が様々な講座・イベントを実施しています。平成22年度も、時代の流れに即した課題や行政として取り組まなければならない課題（「環境問題」「子育て支援」「食育の推進」）などに取り組んで頂いています。また、地域のお年寄りが子どもたちに教える講座なども開催しています。

・開催講座については委員意向によるため、参加希望者（市民）から広く意見を募っていただきたい。また、実施されている講座のほとんどが平日の日中に行われているため、職業従事者が参加できないことから週末または夜間に開催する事も検討していただきたい。

各種講座・イベント等の開催の際には必ずアンケート調査を行い、常に広く市民の意見を聴取しています。また、例えば、雇用情勢が厳しい中で、資格取得のための講座や就業支援に結びつくような講座を週末や夜間に開催するなど検討していきます。

<E 22年度未達成事業の課題・問題点など>

【生涯学習部】

生涯学習指導者登録制度（人材バンク）の活用、市民の多様で高度な学習ニーズの把握と助言等を行うための学習相談体制の強化が必要です。

※未達成の理由<支障となった理由>

<F 今後の展開（取組方針）>

【生涯学習部】

生涯学習センターでは生涯学習指導者や生涯学習ボランティアの育成と活用に重点を置き各種市民講座等の充実を図ります。

図書館開館百周年にあたることから、様々な記念事業を展開しますが、図書館の持つ集会機能を重視し、市民が利用しやすい図書館を目指して市民と協働して事業を展開します。

学校との連携を深めるため、学校図書館関係職員との交流、「学習パック」や「子ども読書パック」の活用など授業の中でも図書館の蔵書を活用し、図書館の利用拡大を図ります。

<G 実績指標：事業ごとの進捗を示す代表的な指標>

目標指標	目標指標の定義	当初値	H19	H20	H21	H22	H22年度 目標値	H27年度 目標値
生涯学習センター利用者数(+)	中央、腰越、深沢、大船、玉縄の5地域にある生涯学習センターの、年間利用者数の合計	544,960 人	538,524 人	577,722 人	619,084 人	581,424 人	551,000 人	556,000 人
図書館資料の年間貸出数(+)	中央図書館及び地域館の図書館資料の年間貸出数の合計	1,241,035 冊	1,240,927 冊	1,308,086 冊	1,523,736 冊	1,593,449 冊	1,303,000 冊	1,363,000 冊
図書館の利用度(+)	ここ1年間で図書館を利用した市民の割合	42.8 %	42.7 %	43.0 %	40.8 %	41.0 %	45 %	48 %

<H 事業コスト総額>

分野別事業費		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
施策コスト	決算値 (A)	472,284千円	468,275千円	398,586千円					
	(国・県)	3,068千円	9,943千円	508千円					
	(負担金等)	78,047千円	74,823千円	66,480千円					
	(一般財源)	391,169千円	383,509千円	331,598千円					
	人員配置数	38.6人	36.6人	36.8人					
	人件費 (B)	347,774千円	329,371千円	320,554千円					
	総事業費(A+B)	820,058千円	797,646千円	719,140千円					
	対前年比		97.3%	90.2%					

鎌倉市民評価委員会の評価

～評価委員は、この分野の取組について次のように評価しています。



評価できるところ

- ・「鎌倉萌」、「広報かまくら」を通じて講座の情報をわかりやすく市民に伝えている。
- ・子ども向け講座が充実している。独身男女を対象とした講座を開くなど、受講者の幅を広げる取り組みをしている。
- ・生涯学習センターの講座が充実している。
- ・市民活動団体「図書館ともだち・鎌倉」と協働して、各種図書館振興事業を企画運営し、市民ニーズの把握に努めながら図書館の集会機能を拡充させる等、ニーズの把握とそれに合わせた事業を実施している事は大変評価できる。



課題・提言

- ・講座受講者が、そこで得た知識や技術がきちんと評価され、地域活動等に活かしていくようなくみがあるとよいのではないか。
- ・利用者からの多様な継続的需要に対応した講座、図書等の内容の見直し充実等、高い生涯学習ニーズに対応し、学ぶための場を整備していく必要があるが、施設が不足している。
- ・市民講座について、イベントや講座の開催の際には、必ずアンケート調査を行い、常に広く市民の意見を聴取しているようであるが、これは参加している方々からの意見であり、まだ参加したことのない方々に参加していただくための情報収集とはならないため、講座やイベント以外での情報収集の仕組みを検討して欲しい。